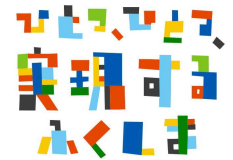


主要な農作物の生育情報

令和4年度 第3号

(令和4年6月10日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

水稲の移植作業は、始期が平年並の5月8日、盛期が平年より1日早い5月15日、終期が平年並の5月26日となりました。

6月7日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈は本部（郡山市）が平年並からやや長く、会津地域研究所（会津坂下町）と浜地域研究所（相馬市）が短くなっています。茎数は、各地域ともやや少ないから少なくなっています。主稈葉数は、本部と浜地域研究所が平年より少なく、会津地域研究所が平年並となっています。

表1 農業総合センターにおける水稲の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月. 日)	6月7日調査		
			草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈葉数 (枚)
本 部	コシヒカリ	5.16	27.2 (104%)	139 (67%)	5.2 (−0.6)
	ひとめぼれ	5.16	24.1 (101%)	150 (68%)	5.2 (−0.7)
会津地域 研究所	コシヒカリ	5.19	23.5 (80%)	196 (98%)	6.3 (±0.0)
	ひとめぼれ	5.19	23.7 (86%)	201 (93%)	6.3 (±0.0)
浜地域 研究所	コシヒカリ	5.10	27.0 (88%)	297 (86%)	6.2 (−0.5)
	ひとめぼれ	5.10	24.6 (83%)	318 (81%)	6.4 (−0.4)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2017～2021年の平均値)との比較を表す。

2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、平年並から遅くなりました（平年差±0日から+3日）。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方では、露地栽培の定植が5月中旬から下旬にかけて行われています。県北地方では、雨よけ栽培の定植が5月下旬から行われています。生育は平年並で、一部のほ場でアブラムシ類の発生が見られています。

2 トマト

県南地方のハウス栽培は、第1果房の着果が始まっています。南会津地方の雨よけ栽培の定植は5月下旬から6月上旬にかけて行われています。生育は順調に進んでおり、目立った病害虫の発生はありません。

3 さやいんげん

県中地方、会津地方では、露地栽培の定植が5月中旬から行われています。病害虫は、一部のほ場でアブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生が散見されています。

4 ピーマン

県中地方では、露地栽培の定植が5月中旬から行われています。

5 春ブロッコリー

3月中旬から定植が行われた相双地方では生育が順調に経過し、収穫のピークは6月中旬になる見込みです。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における 6 月 1 0 日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が42.2mmで平年比119%、側径が35.2mmで平年比124%、「ゆうぞら」は縦径が41.8mmで平年比118%、側径が30.7mmで平年比117%と、両品種とも平年より大きい状況です。

また、「あかつき」における硬核期開始は、6月7日で平年より2日早くなりました。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が26.1mmで平年比118%、横径が29.4mmで平年比118%と平年より大きく、「豊水」は縦径が27.7mmで平年比114%、横径が29.6mmで平年比118%と平年より大きい状況です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が35.9mmで平年比118%、横径が35.5mmで平年比115%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が33.0mmで平年比117%、横径が29.2mmで平年比112%と平年より大きい状況です。

4 病害虫の発生

モモせん孔細菌病、ナシ黒星病の発生が一部で確認されるため、梅雨期に向けて果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 キク類

平年並の4月下旬に定植が行われた8月咲きは、草丈が平年並となっており、順調に生育しています。9月咲きは定植が平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。

病害虫は、一部の品種で白さび病の発生がみられています。

2 リンドウ

生育は草丈が平年並からやや長く、節数は平年並となっており、生育は順調です。病害虫では、葉枯病、リンドウホソハマキ、ハダニ類の発生が散見されています。

【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。一番草は5月上旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は平年並となる見込みです。

飼料用トウモロコシは4月下旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

◎ 防霜対策については、福島県農林水産部農業振興課（ホームページ）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu> 等を活用し、適切に対応してください。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>